

令和2年度新潟市在宅医療・介護連携推進協議会活動報告

1 設 立 平成27年7月28日

2 委 員 19名

(敬称略・五十音順)

| | 氏 名 | 所 属 | | 氏 名 | 所 属 |
|----|-------|------------------------------------|----|-------|--|
| 1 | 阿部 行宏 | 新潟市医師会 理事/山の下地域包括ケアネット 代表 | 11 | 中川 恵子 | 新潟県訪問看護推進協議会 常任理事 |
| 2 | 阿部 葉子 | 在宅ケアクリニック川岸町 ケアマネジャー・MSW | 12 | 中山 裕子 | 新潟県理学療法士会 副会長 |
| 3 | 池田 貴之 | 新潟市社会福祉協議会 地域福祉課地域活動支援係 係長 | 13 | 成瀬 聡 | 総合リハビリテーションセンター・みどり病院 病院長 在宅医療・介護連携ステーション中央第二 |
| 4 | 伊藤 明美 | 新潟市薬剤師会 副会長 | 14 | 野本 優二 | 新潟市市民病院 緩和ケア内科部長 |
| 5 | 井上 正則 | 新潟市医師会在宅医療・在宅ネット運営協議会 委員長 | 15 | 平澤 貴典 | 新潟市歯科医師会 理事 |
| 6 | 小山 弓子 | 新潟市地域包括支援センターあじかた 管理者 | 16 | 宮崎 則男 | 新潟県介護福祉士会 会長 |
| 7 | 斎藤 忠雄 | 在宅医療連携拠点事業実施者 在宅医療・介護連携ステーション中央 | 17 | 横田 樹也 | 新潟市医師会 理事 |
| 8 | 鈴木 一郎 | 新潟大学医歯学総合病院地域保健医療推進部 副部長・准教授 | 18 | 和 澄 徹 | 新潟市民生委員児童委員協議会連合会 理事 |
| 9 | 豊嶋 直美 | 山潟地区コミュニティ協議会 会長 | 19 | 渡邊 敏文 | 新潟医療福祉大学 地域連携推進センター長 教授 |
| 10 | 永井 博子 | 新潟県訪問看護推進協議会 会長 | | | |

3 事務局

新潟市保健衛生部地域医療推進課

4 協議会の役割

当協議会は次の事項について意見を述べる。

- (1) 新潟市医療計画の進捗状況、具体策の協議に関すること
- (2) 在宅医療・介護連携の推進のために必要な施策に関すること

5 組織体系

当協議会は「全体会」と「在宅医療・救急医療連携ワーキンググループ」で構成する。
ワーキンググループは、必要に応じてオブザーバーを招致する。

令和2年度 体系図

全 体 会

<協議事項>

- (1) 新潟市医療計画の進捗状況、具体策の協議に関すること
- (2) 在宅医療・介護連携の推進のために必要な施策に関すること

<委 員> 19名 (◎会長1名、○副会長2名、委員16名)

阿部 行宏 阿部 葉子 池田 貴之 伊藤 明美 井上 正則 小山 弓子
 斎藤 忠雄 鈴木 一郎 豊嶋 直美 永井 博子 中川 恵子 中山 裕子
 成瀬 聡 野本 優二 平澤 貴典 ○宮崎 則男 ○横田 樹也 和澄 徹

◎渡邊 敏文

在宅医療・救急医療連携ワーキンググループ

<協議事項>

在宅医療・救急医療の関係者間で個人の医療に関する情報や医療・ケアに関する希望などの意思を共有するための連携ルール構築に関すること

<メンバー> 7名 (50音順、○座長)

○横田 樹也 阿部 葉子 宮崎 則男 (協議会委員)

斎川 克之 (新潟市在宅医療・介護連携センター)

澤口 義晃 (新潟市消防局救急課)

原田 宏一 (新潟県弁護士会)

広瀬 保夫 (新潟市民病院救命救急・循環器病・脳卒中センター)

6 開催経過

全体会 3回

在宅医療・救急医療連携ワーキンググループ 3回

| 開催日 | 会議名 | 委員出席人数 |
|---------------|--------------------------|--------|
| R2. 6. 2(火) | 第1回 在宅医療・救急医療連携ワーキンググループ | 7人 |
| R2. 9. 4(金) | 第1回 全体会 | 18人 |
| R2. 11. 10(火) | 第2回 在宅医療・救急医療連携ワーキンググループ | 7人 |
| R3. 1. 13(水) | 第2回 全体会 | 17人 |
| R3. 2. 22(月) | 第3回 在宅医療・救急医療連携ワーキンググループ | 7人 |
| R3. 3. 23(火) | 第3回 全体会 | 18人 |

7 協議事項

全体会

第1回

- (1) 副会長選出
- (2) 在宅医療・介護連携推進事業実績報告
- (3) 在宅医療提供体制に関する実態・意識調査について
- (4) 在宅医療・救急医療連携推進パイロット事業について
- (5) 第2期新潟市医療計画の策定について
- (6) その他
(情報交換) コロナ禍における医療・介護提供体制等への影響について

第2回

- (1) 新潟市医療に関する意識調査について
- (2) 地域医療提供体制に関する実態・意識調査について
- (3) 在宅医療・介護連携推進事業実績報告
- (4) 在宅医療・介護連携推進事業 令和3年度業務計画案について
- (5) その他

第3回

- (1) 令和2年度新潟市在宅医療・介護連携推進協議会活動報告
- (2) 令和3年度新潟市在宅医療・介護連携推進協議会活動計画
- (3) 新潟市医療計画について
- (4) 医療・福祉職 就職状況にかかる調査について
- (5) 地域医療提供体制ならびに医療・介護連携に関する実態・意識調査について

在宅医療・救急医療連携ワーキンググループ

第1回

(1) 協議

- ①これまでの取組み・今後の予定について
- ②対象者・協力機関の範囲について
- ③シートの仕様・運用等について

(2) 情報提供

SWANネットについて

第2回

(1) 協議

- ①事業進捗状況について
- ②専門職（支援者）向け意思決定支援研修会について

(2) その他

第3回

(1) 協議

- ①事業進捗状況について
- ②にいがたQQ連携シートについて
- ③専門職（支援者）向け意思決定支援研修会について

新潟市在宅医療・介護連携センター&ステーション相談事業状況（2020年4月1日～2021年2月28日）

1. 相談件数

*相談者の地区別内訳

| | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 (11ヶ月) |
|------|--------|--------|------------------|
| 北区 | 1 | 10 | 3 |
| 東区 | 27 | 27 | 15 |
| 中央区 | 81 | 49 | 38 |
| 江南区 | 19 | 10 | 11 |
| 秋葉区 | 11 | 14 | 16 |
| 南区 | 13 | 14 | 16 |
| 西区 | 56 | 54 | 47 |
| 西蒲区 | 11 | 14 | 7 |
| 市外県外 | 6 | 8 | 5 |
| 不明 | 4 | 1 | 1 |
| 計 | 229 | 201 | 159 |

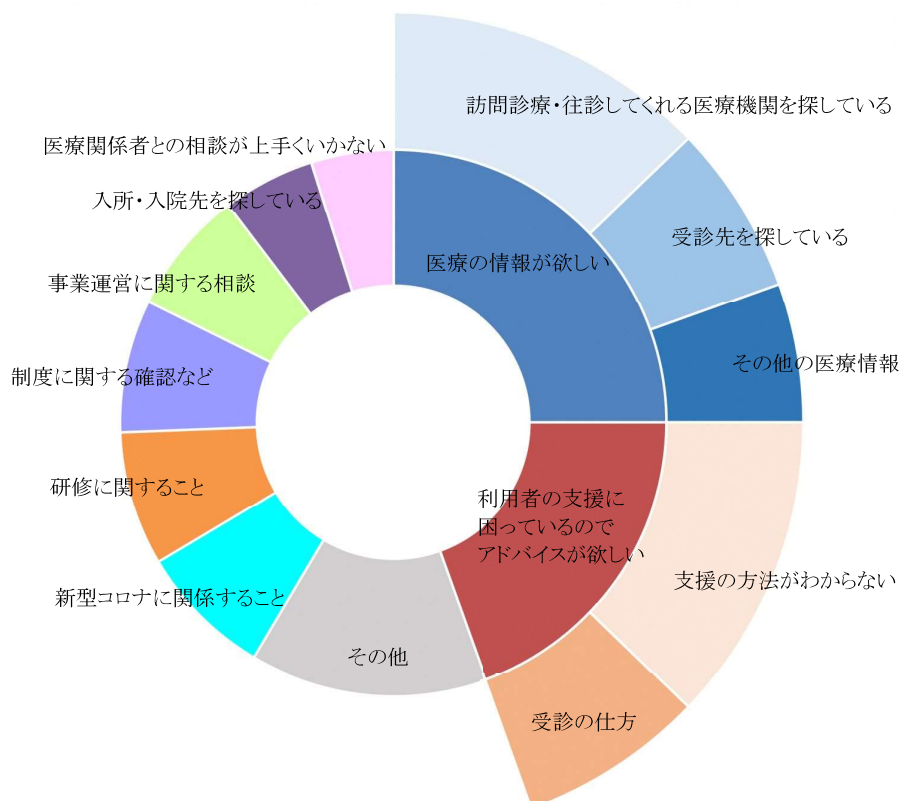
*相談者内訳

| | 2018年度 | 2019年度 | 2020年 度(11ヶ 月) |
|-------------------|--------|--------|----------------------|
| 居宅介護支援事業所 | 82 | 55 | 45 |
| 地域包括支援センター | 38 | 47 | 28 |
| 病院(MSW・NS・DR・薬剤師) | 29 | 21 | 11 |
| 訪問看護ステーション | 7 | 15 | 16 |
| 行 政 | 20 | 15 | 12 |
| 診療所 | 3 | 5 | 9 |
| 市民 | 20 | 13 | 7 |
| 介護事業所(在宅系) | 7 | 2 | 6 |
| 障がい支援センター、相談事業 | 4 | 3 | 6 |
| 介護事業所(施設系) | 4 | 5 | 5 |
| 薬局 | 3 | 4 | 1 |
| その他 | 12 | 16 | 13 |
| 計 | 229 | 201 | 159 |

*相談受付ステーション

| | 2018年度 | 2019年度 | 2020年 度(11ヶ 月) |
|--------|--------|--------|----------------------|
| ST北 | 3 | 13 | 1 |
| ST東 | 8 | 13 | 7 |
| ST東第二 | 3 | 5 | 3 |
| ST中央 | 9 | 4 | 1 |
| ST中央第二 | 21 | 10 | 11 |
| ST江南 | 5 | 1 | 1 |
| ST秋葉 | 9 | 15 | 12 |
| ST南 | 13 | 14 | 12 |
| ST西 | 37 | 20 | 16 |
| ST西第二 | 13 | 15 | 14 |
| ST西蒲 | 10 | 14 | 11 |
| センター | 98 | 77 | 70 |
| 計 | 229 | 201 | 159 |

2. 相談内容の内訳 (N=164)



在宅医療・介護連携センター／ステーション実施事業
研修会等実施状況

| 事業名 | | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 R3.3.31見込み |
|-----------------------------|------|--------|----------|---------------------|
| ご当地連携研修会 | 実施回数 | 56 | 52 (中止8) | 28 |
| | 参加者数 | 3,098 | 2,593 | 994 |
| ご当地連携研修会「感染症対策研修 (CHAIN関連)」 | 実施回数 | | | 22 |
| | 参加者数 | | | 567 |
| 区民公開講座 | 実施回数 | 19 | 13 (中止2) | 5 |
| | 参加者数 | 2,803 | 1,456 | 446 |
| 市民出前講座「おさがる座談会」 | 実施回数 | 64 | 55 (中止9) | 23 |
| | 参加者数 | 1,452 | 1,560 | 412 |
| 事業所向け「在宅医療・介護の出前講座」 | 実施回数 | 4 | 12 (中止2) | 1 |
| | 参加者数 | 107 | 256 | 46 |
| 地域医療連携強化事業 | 実施回数 | 8 | 6 (中止2) | 5 |
| | 参加者数 | 356 | 522 | 240 |
| 働く人のための医療・介護セミナー | 実施回数 | 8 | 7 | 4 |
| | 参加者数 | 109 | 119 | 83 |
| 小・中学生、高校生向け「医療・介護の出前学習」 | 実施回数 | 6 | 22 | 35 |
| | 参加者数 | 227 | 1,322 | 2,321 |
| ネットワーク情報交換会 | 実施回数 | 1 | 1 | 1 |
| | 参加者数 | 174 | 191 | 145 |
| ネットワーク事務担当者会議 | 実施回数 | 2 | 1 (中止1) | |
| | 参加者数 | 73 | 38 | |
| 近隣市町村情報交換会 (新潟市開催分) | 実施回数 | 1 | 1 | 1 |
| | 参加者数 | 62 | 45 | 15 |
| 市民公開講座「在宅医療・介護市民フォーラム」 | 実施回数 | 1 | | |
| | 参加者数 | 275 | | |

(中止) は新型コロナウイルスによる開催中止分



在宅医療・介護の
区民公開講座

にいがた未来ポイント
対象事業

バスICカード「リレー」
または「おサイフケータイ対応
スマートフォン」をお持ちください。
※事業対象年齢20歳以上

参加無料

コロナ禍で 自らの生命 健康(くらし)を 衛(まもる)ための 新しい生活様式 とは？

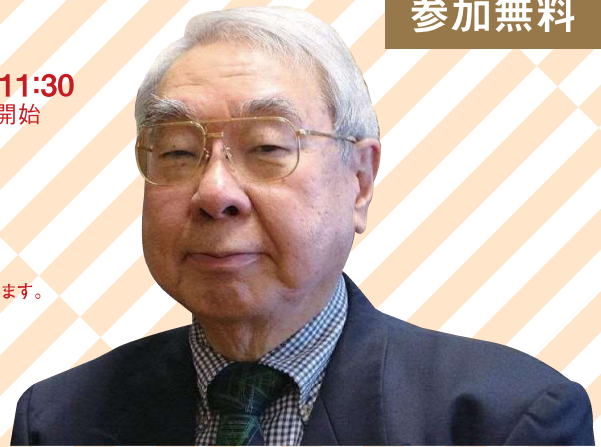
日時 令和3年2月7日(日) 10:00~11:30
9:30受付開始

定員 会場200名+オンライン受講200名

この講座は、講師が遠隔地から講義を行うオンライン講座です。
会場での受講のほかに、オンラインでの受講も可能です。
オンラインでの受講を希望する方は、かんたん申込み(インターネット)で
お申し込みください。申込み締切り後、当日までに受講に必要なIDをご連絡します。

会場 白根学習館 1F ラスペックホール
新潟市南区田中383番地

講師 日本福祉大学名誉教授 牧野 忠康 氏



お申し込み

会場受講 → 新潟市役所コールセンター ☎ 025-243-4894

受付期間 / 1月23日(土)~2月4日(木) 受付時間 / 8:00~21:00 土日祝も受付けます
必要事項 / 代表者の氏名・電話番号・参加人数(1申込複数可)・参加者の氏名

オンライン受講 → 新潟市かんたん申込み 🔍 で検索! 受付締切 2月4日(木)

※スマートフォンをお持ちの方は、右のQRコードからもアクセスできます



共催 / 南区保健医療福祉のつながりを深める会 新潟市南部地区地域医療連絡会
新潟市在宅医療・介護連携ステーション南 新潟市南区社会福祉協議会 新潟市南区役所
後援 / 新潟県医師会 新潟市医師会 新潟県歯科医師会 新潟市歯科医師会 新潟白根総合病院 白根緑ヶ丘病院 白根大通病院
問い合わせ / 新潟市南区役所健康福祉課 健康増進係 TEL.025-372-6375(平日8:30~17:30土日祝除く)

新型コロナウイルス
感染症対策

- 受付時に、お名前と連絡先のご記入をお願いします。
- 入場の際に検温いたします。発熱のある方、体調のすぐれない方はご来場をお控えください。
- 会場内でマスクの着用及び入場前に手指消毒をお願いします。

区民公開講座（南区）

「コロナ禍で自らの生命（いのち）と健康（くらし）を
衛（まもる）ための“新しい生活様式”とは？」

開催日時：令和3年2月7日（日）
10：00～11：30

会場：
新潟市白根学習館 ラスペックホール

○内容

日本福祉大学名誉教授の牧野忠康先生より、リモートにてご講演いただき、Zoomを活用したハイブリッド形式で開催した。

みつつの生命（いのち、くらし、生産）を衛っていくことの重要性、公衆衛生の大切さを現在・過去・未来の視点で検証し、コロナ後の生活を考えていくという濃密な内容であった。

※南区区づくり事業との共催で行った。

○参加者 131名（会場に59名、リモート参加が72名）

○参加者の反応（アンケートより抜粋）

- ・ 関連したことをいろいろ考えなければと再認識するきっかけになりました。
- ・ コロナ禍の新しい生活様式と思ってましたが、今までと変わらないお互いさまの助け合いを続けていくことだと気づきました。
- ・ 「歴史は繰り返されているが人間は克服してきた」というお話をお聴きし、現在コロナ禍で不安を感じているなかにも希望が見えてきました。
- ・ アンケートの質問「在宅医療を希望しますか？」とありますが、“できますか？”と逆にお聞きしたい。
- ・ リモート講演でいろいろトラブルはありましたが、とてもいいこと。これからも願います。



市民出前講座 「医療と介護のおきがる座談会」

開催日時：令和3年3月11日（木）13：00～14：00

会場：江南区福祉センター

○内容

テーマ「上手な医療のかかり方」

講師：新潟市在宅医療・介護連携センター 細道奈穂子

普段から身近な人と話をしておくことの大切さ、かかりつけ医をもつ必要性、医療に関する情報を得たり相談する窓口、緊急時のかかり方、受診した時の医師への伝え方についてお話をした。

新型コロナウイルス感染予防に関するポイント、“もしもシート”の説明を取り入れつつ、熱が出たときの受診の方法、退院時に生じるかかりつけ医と病院との関係などについては実際の事例で説明した。

○対象者 江南区社会福祉協議会でボランティア登録をしている人

○参加者数 42名

○参加者の反応

- ・とても分かりやすく、今まさにその通りだと思った。自分のため、家族のため賢い患者になりたいと思った。
- ・タイムリーなお話で参考になりました。かかりつけの大切さを再認識しました。
- ・具体例等取り入れた話がとても分かりやすく、身につまされ、講義内容を常に頭におき日々健康に関心を持つように改めました。
- ・大変良かったです。特に受診時メモるように心がけたいと思った。
- ・もうそういう時なのに自分のことは忘れていました。考えます。



働く人のための医療・介護セミナー

「備えあれば憂いなし 家族の介護と、あの問題」

※中央公民館との共催

開催日時：令和3年2月3日から3月日の
毎週水曜日全5回 19:00~21:00

会場：新潟市中央公民館
(クロスパルにいがた)

○それぞれの内容と参加者数

| 開催日 | テーマ、内容 | 講師 | 参加数 |
|-------------------|---|--|-----|
| 2/3 | 施設の種類、老人ホームの選び方 | 地域包括支援センターふなえ 管理者 須貝秀昭 | 28 |
| 2/10 (担当：センター) | 遠距離介護も可能になる、医療との 付き合い方や介護者としての 準備。もしもシートについて。 | 新潟市医師会地域医療推進室 新潟市在宅医療・介護連携センター 保健師 細道奈穂子 | 21 |
| 2/17 | 終活を取りまく現状、家やペット の後しまつ、エンディングノート | 一般社団法人 はまなす 特定行政書士 秋山貴子 | 32 |
| 2/24 (担当：センター) | 認知症、正しく知って怖がらない | 総合リハビリテーションセンターみどり病院 認知症疾患医療センター 副センター長 川井紀子 | 24 |
| 3/3 | 相続の基本 | 一般社団法人 はまなす 特定行政書士 秋山貴子 | 28 |

○参加者の反応（第1, 2, 4回のアンケートより抜粋）

- ・ 現実問題としてとらえて質問される方もいて、あらためて向き合うことの大切さを思い知った
- ・ 知らないことばかりで良い勉強になりました。
- ・ 家族のためにとこの講座を受けたが、自分のことも含めて話し合っていきたいと思った。
- ・ かかりつけ医が一番難しい
- ・ 介護される側の気持ちが良く分かった。
- ・ 「忘れたっていい、迷惑かけてもいいと思える社会へ」という話に、はっとしました。予防が大事だと思いました。
- ・ 早めに医療機関に行くことを心に留めました。



令和 2 年度 看護職関係の研修会 ～組織を超えた看看連携の構築のために～

【広域的な研修会】

* 地域看護連携強化事業

| 月日 | 内容 | 参加者 | 参加者数 |
|---------------|---|---------------------|------|
| 10月31日 | 新潟県看護協会新潟東西支部三職能合同研修会 | 看護師、保健師、助産師 | 中止 |
| 12月22日 Web | CanCanミーティング ～地域で“生きる” “暮らす”を支援する外来看護～ | 新潟市内・近隣市町村病院・診療所看護師 | 230 |

* 病院看護管理者研修会

| 月日 | 内容 | 参加者 | 参加者数 |
|---------------|---|------------------|------|
| 11月17日 Web | 新潟市病院看護管理者研修会～新型コロナウイルス感染症患者受け入れ病院における現状・課題と感染対策～ | 新潟市内・新潟県域内病院看護部長 | 38 |

【区単位での研修会】

* 訪問看護ステーションを中心とした行政保健師等看護職情報交換会

| 月日 | 開催区 | 参加職種・テーマ | 参加者数 |
|-------|-----|---|------|
| 7月30日 | 北区 | 区内訪問看護ステーション・行政保健師・ST北 ～新型コロナウイルスによる業務の状況～ | 18 |
| 8月18日 | 西区 | 区内訪問看護ステーション・ST西第二 ～新型コロナウイルスによる業務の状況～ | 20 |
| 8月27日 | 中央区 | 区内訪問看護ステーション・ST中央第二 ～新型コロナウイルスによる業務の状況～ | 13 |
| 9月9日 | 江南区 | 区内訪問看護ステーション・行政保健師 ～行政の難病患者への支援と困難事例等～ | 12 |

ST：在宅医療・介護連携ステーション

* 在宅医療・介護連携ステーションがご当地連携研修会として開催

| 月日 | 開催区 | テーマ | 参加者数 |
|--------|--------|--|------|
| 10月28日 | 南区・西蒲区 | 区内訪問看護ステーションと行政保健師 「新型コロナウイルス感染対応と情報交換」 | 19 |
| 11月18日 | 東区 | 区内看護職 「精神科医療機関と地域の事業所間の連携強化」 | 24 |
| 11月19日 | 秋葉区 | 区内訪問看護ステーションと行政保健師 「それぞれの業務と災害時等緊急事態対応」 | 14 |
| 3月10日 | 北区 | 区内看護職（訪問看護ステーション・包括支援センター・行政） 「災害時対応の現状と課題について情報交換」 | 22 |

在宅医療・救急医療連携推進パイロット事業 取組状況報告

1. 実績（R1～2年度）

(1) ワーキンググループ

R1. 5. 24（第一回） R1. 7. 29（第二回） R1. 10. 1（第三回） R2. 1. 29（第四回）
R2. 6. 2（第四回） R2. 11. 10（第五回） R3. 2. 22（第六回）

(2) ヒアリング・アンケート

R1. 6 市社協（緊急情報キット） R1. 6 市医師会（SWAN ネット）
R1. 6 救急課（救急アクションカードほか） R1. 10 市内全救急隊アンケート
R1. 11 西消防署 R1. 11～R2. 2 西区高齢者施設
R1. 12 西区4包括支援センター
R2. 6～7 西区救急5病院 R2. 7 西消防署

(3) 意見交換会等

R1. 9 市居宅介護支援事業者連絡協議会
R1. 10 西区救急5病院連携実務担当者
R1. 11 西区救急5病院経営管理層・看護部長・連携実務担当者
R2. 1 赤塚・坂井輪圏域学習会
R1. 6～R2. 1 中央区ケア会議、ケア会議作業部会（計3回）
R2. 6、R3. 3 西区救急5病院連携実務担当者 R2. 8 西区介護老人保健施設
R3. 2 西区特別養護老人ホーム、ショートステイ

2. 今後の予定（R3年度）

(1) ワーキンググループ

R3. 6（第一回） R3. 10月（第二回） R4. 1（第三回）

(2) にいがた救急連携シート

紙：4月運用 ICT ツール：7月運用開始

(3) ①意思決定支援研修会 ②市民ワークショップ

検討中

(4) 事業説明会等

R3. 3～R3. 4 西区救急5病院、西区対象施設、西区消防署

在宅医療・救急医療連携推進パイロット事業 概要

(R2年度保健衛生部重点事業)

1 目的

高齢化の進展に伴い今後も増え続ける救急搬送需要に対応するため、「にいがたQQ連携シート」を作成し、救急時に本人、家族、救急隊、医療ケアチームと共有・活用することで、円滑な救急搬送につなげる。あわせて、普段から治療やケア、過ごし方に関する希望を家族などと共有しておくことの大切さについて、理解と実践を促し、本人の意思が尊重されやすい医療提供体制の強化につなげる。

2 事業

(1) 「にいがたQQ連携シート」の作成・運用

既往歴、持病、服薬状況などの医療情報、かかりつけ医や緊急連絡先情報のほか、今後の治療やケアに関する本人の希望、家族等の意向を含めた情報を記載するシート（ICTツール）を作成し、救急時に関係者間で共有・活用する。

令和3年度は西区で検証

■対象者

西区に住所を有する要支援・要介護認定者のうち、施設利用者（※） 約2,000人

※①特別養護老人ホーム ②介護老人保健施設 ③ショートステイ

(2) 救急医療についてのセミナー・研修会の開催

ア 「市民向けワークショップ」

市民へもしものときに受けたい医療や受けたくない医療、正しい医療のかかり方、#7119などのサービスについて理解や関心を深める。

イ 「支援者育成（意思決定支援等）研修会」

生活相談員や介護支援専門員、医療ソーシャルワーカーなど支援者を対象とした研修会を開催し、「にいがたQQ連携シート」の趣旨や取扱いについて理解を深めるほか、ACP（「人生会議」）の基本理解を得てもらう。

■対象者

西区管内の居宅介護支援事業所、高齢者施設（特養・老健・短期入所等）の従事者

(3) 在宅医療・救急医療連携ワーキンググループの開催

在宅医療と救急医療の関係者間で個人の医療に関する情報や医療・ケアに関する希望などの意思を共有するための連携ルールについて検討する。

ワーキング構成員：医療・介護関係者、弁護士、消防局（H31.4月設置）

3 スケジュール（R2～R5年度）

| 年度 | 実施内容 | 対象エリア |
|---------------|---|--|
| | | 対象者 対象者数（最大） |
| R2 ・ R3 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の救急搬送に関する課題抽出、現状把握（ヒアリング・アンケート・意見交換会の開催） 先進事例、既存関連ツール等の把握 シートの検討（仕様・運用方法等） 支援者意思決定支援育成研修会の開催 市民ワークショップの開催 シート（ICTツール）の運用開始【R3.4月～】 事業評価アンケート（中間評価） | 西 区 |
| | | 高齢者施設（※）入所者 ※①特養②老健③短期入所生活介護 約 2,000 人 |
| R4 | <ul style="list-style-type: none"> 対象者、エリア拡大 事業評価アンケート（最終評価） | 西区・中央区 要支援要介護認定者 約 18,000 人 |
| R5 | <ul style="list-style-type: none"> 全市展開 | 全 市 要支援要介護認定者 約 43,000 人 |

※対象者数はR元.5月現在

※R4年度までモデル期間と想定

※要支援要介護認定者以外の対象者も要検討（独居高齢者等）

【未定稿】

資料 1-5-3

もしも

のときのことを 考えたことが ありますか？

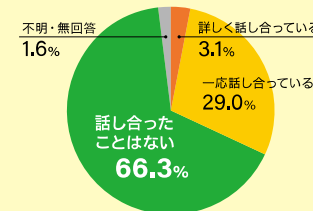


もしもが、いつ、命に関わる大きな病気やケガをするかわかりません。ですが、もしものときに受けたい医療や介護について、自分で考えたり、家族と話しあったことがある人は少ないようです。もしものときに慌てないように、元気な時から、家族や大切な人と思いを共有しておくことは大切です。このシートをきっかけに、ご自身で、また、家族や友人、大切な人と考え、くりかえし話しあってみませんか？

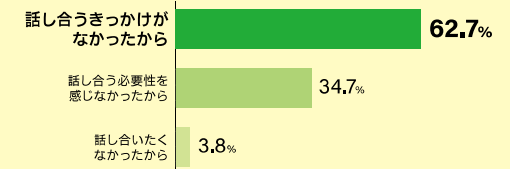
人生の最終段階における医療・ケアなどの話し合いについて

「新潟市医療に関する意識調査」(令和2年9月)(新潟市民20歳以上4000人)

家族や医療介護関係者とどのくらい話しあったことがあるか？



話し合ったことがない理由？



もしものときに受けたい医療、受けたくない医療ってなんだろう？

考えたことないけど、ちょっと考えてみようかな……

最期まで自分らしい生き方をさせてあげたい。

あなたと、あなたの大切な人のために話しあってみませんか？

1 もし、生きることができる時間が限られているとしたら、あなたにとって大切なことはどんなことですか？(複数回答可)

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 家族や友人のそばにいること | <input type="checkbox"/> 少しでも長く生きること |
| <input type="checkbox"/> 仕事や社会的役割が続けられること | <input type="checkbox"/> 好きなことができること |
| <input type="checkbox"/> 身の回りのことが自分でできること | <input type="checkbox"/> ひとりの時間が保てること |
| <input type="checkbox"/> できる限りの治療が受けられること | <input type="checkbox"/> 自分が経済的に困らないこと |
| <input type="checkbox"/> 家族の負担にならないこと | <input type="checkbox"/> 家族が経済的に困らないこと |
| <input type="checkbox"/> 今はわからない | |
| <input type="checkbox"/> その他 () | |

2 もし、治らない病気になったり、気持ちを伝えられなくなったら、どこで、どんな治療やケアを受けてすごしたいですか？

- (1) 痛みや苦痛について できるだけおさえてほしい 自然のままでもいい 今はわからない その他 ()
- (2) すごしたい場所 自宅 病院 施設 今はわからない その他 ()

3 もし、治療やケアについて、自分で決められなくなったら、代わりに誰に話しあってほしいですか？

- 配偶者(夫・妻) 子ども・孫 きょうだい 親戚(姪・甥など) 友人・知人
- かかりつけ医 頼める人はいない その他 ()

4 これらの選択を希望した思いや理由を書いてみましょう

このシートはご自身で治療方法を判断することが困難な場合に、ご自身の意思内容として、ご家族や医療・ケアチームにおいて最大限尊重いたします。

なお、何回も書き直すことができます。

| | |
|-----------------------------------|------|
| 作成日 | 本人氏名 |
| 年 月 日 | |
| <input type="checkbox"/> 記入支援者 氏名 | |
| <input type="checkbox"/> 代筆者 | |
| 本人との関係 | |



にいがた救急連携シート



新潟市では、皆さまにあらかじめ治療中の病気やかかりつけ医療機関、緊急連絡先などを記入してもらった「にいがた救急連携シート」を作成しました。緊急事態発見者や医療機関、救急隊などの関係者が、このシートに記載の情報を共有することで、「もしもの時」に、速やかな救急搬送や搬送先医療機関でのスムーズな対応につなげることを目的としたものです。記載内容に変更があった場合は、そのつど記載してください。

作成/新潟市在宅医療・介護連携推進協議会 発行/新潟市保健衛生部地域医療推進課

(1) 基本情報

| | | | | |
|---------|-------------|----|-----|---|
| ふりがな | | 年齢 | 歳 | |
| 氏名 | | 性別 | 男・女 | |
| 生年月日 | 明治・大正・昭和・平成 | 年 | 月 | 日 |
| 住所 | 新潟市 区 | | | |
| 連絡先電話番号 | | | | |

(2) 医療の情報

| | | | |
|-------------------------------|--|------|--|
| 現在治療中の病気やケガ | <input type="checkbox"/> 高血圧 <input type="checkbox"/> 糖尿病 <input type="checkbox"/> 心疾患 <input type="checkbox"/> 脳血管疾患 <input type="checkbox"/> その他の疾患 () | | |
| 過去にかかった主な病気 | | | |
| 現在の内服薬 (お薬手帳の写し可) | | | |
| アレルギー | 無・有 (記入:) | | |
| かかりつけ医療機関 | 医療機関名 | 診療科名 | |
| ※おおむね1年以内に受診歴のある などの病院・診療所 | 医療機関名 | 診療科名 | |
| | 医療機関名 | 診療科名 | |

(3) 連絡をとってほしい人

| 氏名 | 続柄 | 住所 | 緊急時連絡先 |
|----|----|----|--------|
| | | | |
| | | | |

(4) かかわりのある医療・福祉・介護の関係者

| | 機関名 | 担当者 | 緊急時連絡先 | 24時間対応 |
|------------|-----|-----|--------|--------|
| かかりつけ医 | | | | |
| 訪問看護ステーション | | | | |
| ケアマネジャー | | | | |
| 生活相談員 | | | | |
| 地域包括支援センター | | | | |
| その他 () | | | | |
| その他 () | | | | |

(5) 日常の体の動き

| 機能障害 | ●力が入らず動かせない <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (部位・程度:) ●感覚がない <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (部位・程度:) <input type="checkbox"/> 触ってもわからない <input type="checkbox"/> 熱さを感じない <input type="checkbox"/> 痛みを感じない |
|-------|---|
| ①麻痺 | |
| ②拘縮 | ●関節が固まって動きにくい <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (部位:) ●関節が固まって動かない <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (部位:) |
| ③欠損 | ●生まれながら/事故や病気で切断したことなどにより体の一部が欠けている <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (部位:) |
| ④視覚 | <input type="checkbox"/> 裸眼で見える <input type="checkbox"/> 眼鏡等の利用で見える <input type="checkbox"/> 眼鏡等をしても見えにくい/見えない |
| ⑤聴覚 | <input type="checkbox"/> 聞こえが悪い (<input type="checkbox"/> みぎ <input type="checkbox"/> ひだり) → 補聴器の利用 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 |
| 活動 | ①歩行 <input type="checkbox"/> 自分ひとりできる <input type="checkbox"/> 支えがあればできる <input type="checkbox"/> 自分ではできない ②補助具など <input type="checkbox"/> 歩行 <input type="checkbox"/> 杖 <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> シルバーカー <input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> その他 () |
| 食事 | ①介助 <input type="checkbox"/> 自分ひとりできる <input type="checkbox"/> 見守りがあればできる <input type="checkbox"/> 自分ではできない ②方法 <input type="checkbox"/> くち(口)で食べる <input type="checkbox"/> 経管栄養 → <input type="checkbox"/> 経鼻(鼻からの管) <input type="checkbox"/> 胃ろう <input type="checkbox"/> 腸ろう <input type="checkbox"/> その他 () |
| 排泄 | ③形態 <input type="checkbox"/> 普通食 <input type="checkbox"/> きざみ食 <input type="checkbox"/> その他 () ①介助 <input type="checkbox"/> 自分ひとりできる <input type="checkbox"/> 支えがあればできる <input type="checkbox"/> 自分ではできない ②方法 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> 尿器 <input type="checkbox"/> オムツ <input type="checkbox"/> 留置カテーテル <input type="checkbox"/> ストーマ <input type="checkbox"/> その他 () |
| 精神状態 | ①意思の疎通 <input type="checkbox"/> できる <input type="checkbox"/> できない ②意識レベル <input type="checkbox"/> はっきりしている <input type="checkbox"/> ぼんやりしている <input type="checkbox"/> 刺激しないと眠り込む ③自傷・他害のおそれ <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (内容:) |
| 特別な医療 | <input type="checkbox"/> ドレーン <input type="checkbox"/> 褥瘡 <input type="checkbox"/> シャント <input type="checkbox"/> ベースメーカー <input type="checkbox"/> 体内金属物 <input type="checkbox"/> その他 (詳細) |

(6) その他、特記事項

同意欄

上記(1)から(6)の情報について、緊急事態発見者、搬送先の医療機関、救急隊、新潟市、新潟市医師会ほか「(4)かかわりのある医療・福祉・介護の関係者」が、本シート及び新潟市が管理するICT情報共有ツールで情報共有し、救急医療に活用することに同意します。

本人氏名

このシートはご自身で治療方法を判断することが困難な場合に、ご自身の意思内容として、ご家族や医療・ケアチームにおいて最大限尊重いたします。
なお、何回も書き直すことができます。

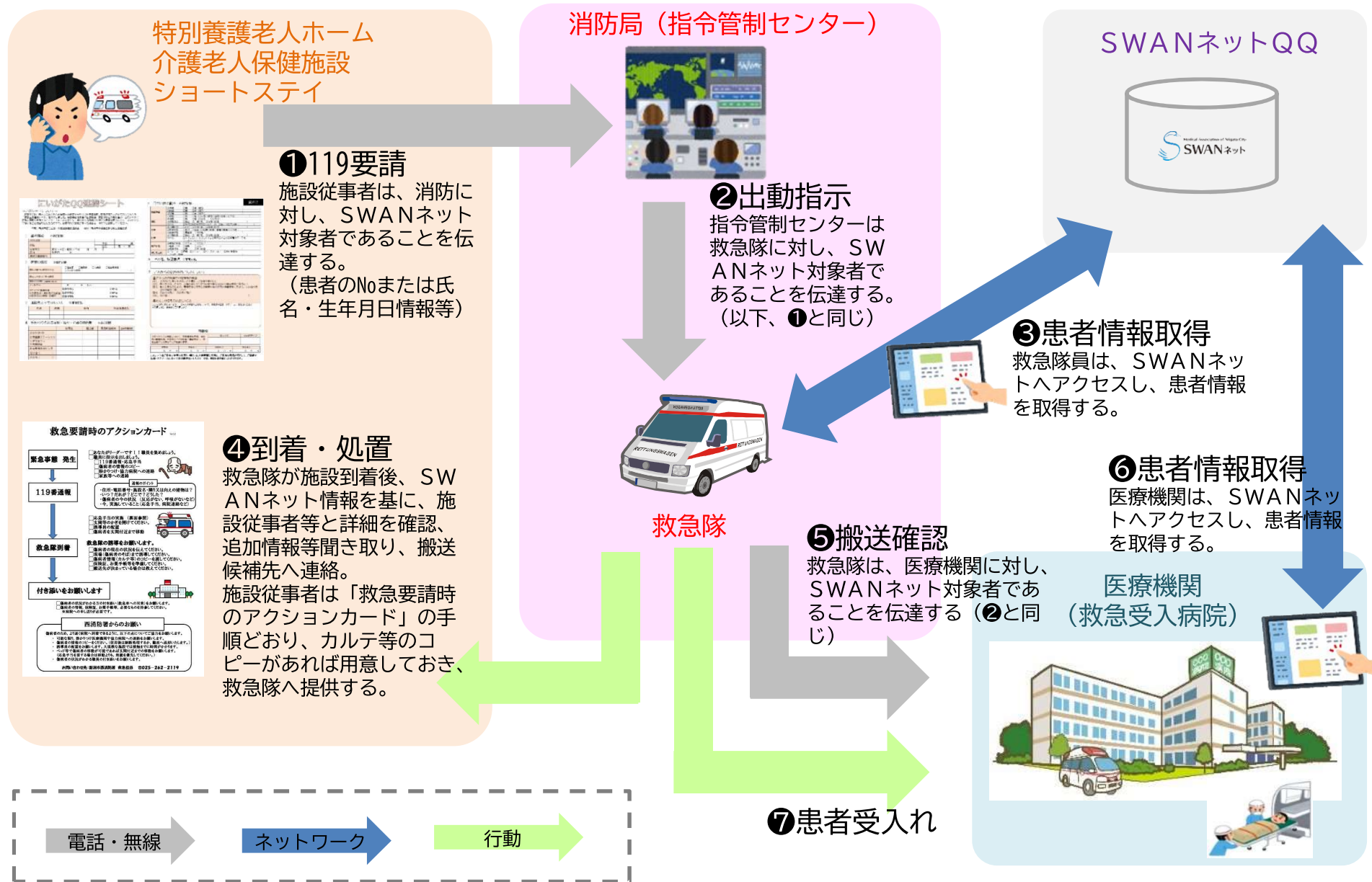
作成日

年 月 日

記入支援者 氏名
 代筆者 _____
本人との関係 _____

本人氏名

にいがたQQ連携シートの運用イメージ（令和3年度・西区）



在宅医療・救急医療連携推進パイロット事業スケジュール <R3年度>

| | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|------------------------|---|--|-----------------|---------------------|---|---|---|---|--------|----|----|---|--------|---|
| QQ連携シート (紙) | | ・印刷 ・対象施設へ説明、配布(特養・老健・ショート、病院、消防局) | | | | | | | | | | | | |
| QQ連携シート (ICT) | | | ●施設にて運用(記入支援)開始 | | | | | | | | | | | |
| 意思決定支援研修 | | | | ●ACP研修会(市内医療・介護職対象) | | | | | | | | | | |
| 市民ワークショップ | | | | | | | | | | | | | | |
| ワーキング | | ・R2.第3回 | | R3.第1回 | | | | | R3.第2回 | | | | R3.第3回 | |
| その他 ヒアリング 意見交換会等 | | ・2/19特養、ショートステイ意見交換会 ・特養、老健、ショートステイ個別ヒアリング・協力以来 ・西区5病院救急担当医師・看護師へ事業(SWANネット)説明 | | | | | | | | | | | | |

②本人の望む医療・ケアが受けられることができる
→ 本人の望む医療・ケアを日頃から話し合うことができる

市民(西区民)に対して

医療・介護等の全職種に対して

相談援助職に対して

目的:市民が日頃から、考えることができる環境づくり
理解を深める、関心をもってもらいイベント等

目的:全職種の共通理解のため
「ACPIについて」
「人生最終段階の医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」

目的:相談援助を行う専門職(CM、MSW、包括支援センター、生活(支援)相談員等)のスキルアップのため
①「意向の明確化」への支援
②合意形成への支援
③本人の意向のアドボカシーと共通理解
④意向をつなぎ実現するためのネットワーキング

4回程度に分けて開催? →

意思決定支援研修会

5月12日 2021年
日(水)

午後7時15分から
(閉会：午後8時30分)

講演



「アドバンス・ケア・プランニング (ACP:人生会議)の基礎と実践」

新潟大学 大学院保健学研究科
医学部保健学科/工学部人間支援感性科学プログラム

教授 **坂井 さゆり** 先生

会場：オンライン開催 (Zoom使用)

共催：新潟市 (保健衛生部地域医療推進課)
新潟市医師会

後援：新潟県弁護士会

定員：先着300名
ご参加いただく場合は、QRコードまたはURLから「かんたん申込」にてお申込みください。詳細は、裏面の「申込方法」をご覧ください。

入場
無料

アドバンス・ケア・プランニング (ACP) とは、自らが望む「人生最終段階における医療やケア」について、本人が、前もって考え、家族等や、医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有するプロセスのことです。「もしも」のときは誰にでも起きます。いのちの危機が迫る時、約7割の方が自分の望む医療・ケアを伝えられないと言われていました。また、事前指示書を書き残すだけでは、医療・ケアの満足度が変わらないとも言われています。ACPの「胆 (きも)」は継続的な対話とその記録です。対話は、自分が何を大切にしているのかを語ろうとする行為から始まります。本講座では、ACPの基本を確認し、専門職としてだけでなく「我が事」としてのACPも意識しつつ、具体的な実践例も用いて、それぞれの場や立場に応じたACPについて考えます。

※この講座は市内に勤務する医療・介護従事者、司法関係者を対象としてご案内しています。

※この講座は新潟市医師会第127回在宅医療講座と同時開催となります。

2021年5月12日開催 【お申し込み期間：4/1（木）～4/30（金）】

意思決定支援研修会 申込方法のご案内

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、オンライン開催（Zoom使用）といたします。

下記、QRコードまたはURLから「かんたん申込み」にて、お一人ずつお申し込みください。

<https://www.shinsei.elgfront.jp/niigata-City2/uketsuke/form.do?id=1615337955133>

申込用QRコード



「ログインIDとパスコード」は、開催2日前までにお申しいただいたメールアドレスあてに発行いたします。IDとパスコードが届かない場合は、下記までご連絡願います。

※ドメイン指定受信を設定している端末には、送信できない場合がございます。chiiki.iryu@city.niigata.lg.jpからのメールが受信できるように予め設定をお願いいたします。

【留意事項】

参加申込はWEB申込のみとし、先着順で受付いたします。申込到達時に、「到達通知メール」、受付完了時に、「受付通知メール」をシステムから自動送信いたします。到達から受付までお時間をいただく場合がございます。

下記の場合も、申込時のメールアドレスにご連絡いたします。

（「BCCで一斉送信」させていただきます。予めご了承ください。）

- ・定員超過で入場をお断りする場合
- ・中止する場合
- ・その他の事務連絡

お問い合わせ

新潟市保健衛生部地域医療推進課

TEL : 025-212-8018

Mail : chiiki.iryu@city.niigata.lg.jp